

令和 8（2026）年度事業計画

自令和 8（2026）年 4 月 1 日

至令和 9（2027）年 3 月 31 日

一般財団法人台湾協会（以下「当協会」という。）は、昭和 25（1950）年 9 月 27 日に設立され、また機関誌『台湾協会報』は同年 10 月 15 日に創刊されていることから、当協会にとり、昨年度は創立三四半世紀たる 75 周年の記念すべき年であって、様々のことをなしたところである。これを受け、今年度以降は新たに創立一世紀の 100 周年に向け、これまで以上に先人方の遺された御偉業、御功績を振り返り、未来を大きく見つめることが望まれている。加えて、従前から課題としてきた日台間の親善と学術・文化の交流を更に積極的に推進し、会員及び台湾関係者の親善交流・相互理解・共栄をより一層図っていく必要がある。

ついては、これらを踏まえ、今年度は下記の事業を推進することとする。事業推進に当たっては、昨年度に引き続き、まず「台湾協会改革の方向性」の徹底を理事全員で再確認することが求められている。

◇台湾協会改革の方向性の再確認◇

- (1) 台湾協会設立の趣旨に則し、今後台湾協会が長期に継続していける在り方を考える。
- (2) 日台相互理解・日台交流を担える次世代会員を育成する。
- (3) 現今の経済環境に見合った事業再構築を図る。

台湾協会創立 100 周年に向けて

日台相互理解の促進



- ☆台湾関係図書・資料の収集、提供
- ☆台湾関係物故者の追悼法要
- ☆会報の発行
- ☆日台学生の交流支援
- ☆イベント・文化交流事業

1 協会目的達成のための活動

- ・会報類の充実、強化

会員相互の最重要連携媒体である『台湾協会報』、昨年度初めて協会宣伝向上と日台両地会員便宜のために作成した両様仕立のカレンダー等を中心に、会員間のコミュニケーション増進及び関係先との連携強化を促進する。

- ・情報発信力の強化

昨年度リニューアルした協会の広報周知方策の要であるホームページ（HP）の更なる改善に努める。また、協会の継続運営に必要な若手会員の増加に繋げるべく、Face book 等による情報発信を充実強化する。

- ・入会手続、爾後管理システムの簡便化

従来御高齢者様をはじめ一部の方々にはややもすれば不便であった入会手続、爾後管理システムを簡便化し、会員の皆様の御負担の軽減を図る。

- ・内外個人会員、法人会員増加方策の強化

昨年度初めて台湾での法人会員の入会があったが、今年度も各種の機会をとらえて、内外個人会員、法人会員の増加に努める。

2 台湾関係重要図書・資料等の収集・活用事業の促進

- ・台湾関係図書・資料（地図、写真等）その他の充実及び整理に一層配意する。具体化の一として古地図の一部をデジタル化し、所蔵資料の永久性を保ち、広く一般に提供できるようにする
- ・昨年度リニューアルした HP では、資料検索についてもアップツウデイト（up to date）したが、更に整備に努め、関係図書・資料等の一般研究者及び会員の活用の利便性向上に努める。

3 台湾関係物故者慰霊法要の斎行事業

- ・築地本願寺での台湾関係邦人物故者追悼法要

10 月 10 日（土）築地本願寺にて台湾関係邦人物故者慰霊法要を斎行する。

- ・台湾出身戦没者慰霊法要

関係団体が主催し台湾協会が後援する奥多摩台湾出身戦没者慰霊法要に参列する。
昨年 4 月横浜市磯子区真照寺に建立（7 月 25 日開眼・除幕式）された台湾出身戦没者慰霊碑の法要が今年度から毎年 5 月の第 3 土曜日に開始されることとなり、今年は 5 月 16 日（土）に举行されることから参列する。

- ・台湾での邦人物故者慰霊祭

11 月台湾日本人会が主催する邦人物故者慰霊祭に遺族代表の立場で参列する。

- ・バシー海峡戦没者慰霊祭

11 月バシー海峡戦没者慰霊祭実行委員会主催、潮音寺管理委員会共催にて台湾協会が後援するバシー海峡戦没者慰霊祭に参列する。

- ・全国及び東京都戦歿者追悼式

8月15日（金）全国及び東京都戦歿者追悼式に参列する。

4 日台間の相互理解の促進

- ・日台相互理解・日台交流を担う次世代会員の育成

従来実施の「講演会」、「ファミリー会」を継続的に開催することにより、広く協会のことを御認識いただくとともに、湾生の御子孫様や日台交流に関心のある方々に入会いただき、協会の次世代を担う会員として育成を図る。

- ・「交礼台湾の会」の会の開催

「交礼台湾の会」を、今年度も趣向を凝らしたものにし、4月12日（日）に東京で開催する。

- ・台北駐日経済文化代表處及び（公財）日本台湾交流協会との連携・交流

御両者様の御配慮を得て、日台相互理解の促進に努める。

- ・各地「台湾の会」との交流・活動確認

沖縄台湾の会、鹿児島沖縄龍眼の会、静岡日台交流協会、東京台湾の会、台湾悠遊倶楽部（群馬県高崎市）等各地所在の「台湾の会」との連携を密にし、最近の活動を確認し、交流を深める。将来的には全国各地の台湾の会との共同主催することを検討する。

- ・台湾での交流会の充実

従来も台湾での邦人物故者慰霊祭時に合わせて開催してきた在台会員との交流会をより発展させ、現地所在の諸団体と連携して規模を拡大した会合にし、その充実に努める。

- ・台湾での文化活動の再開

かつて実施していた台湾での文化活動（寄席、映画上映その他）について、内容を検討し再開する。

- ・学術及び文化の振興

日本台湾学会、天理台湾学会等の学会活動を賛助金支出等により支援する。

台湾観光協会、台湾文化センターとタイアップして出来得る方策を模索する。

- ・関係団体との交流

例えば日華青少年交流協会御主催「日本大学学生訪華研修団団員」選考に引き続き関与するなどして、協会活動の一層の充実に努める。

- ・青少年の健全な育成

台北駐日経済文化代表處や友好団体と協力し、「交礼の会」に台湾留学生を招待したり、台湾留学生と台湾に関心を有する日本人学生との交流会を実施することにより、相互理解の促進に努める。

以上